

# よむよむ

神川町立青柳小学校  
学級懇談会 資料  
図書室便りNo.12

## 読み聞かせはいつまで？

### ～小学生になっても続けるメリット～

青柳小学校では年に13回、低学年を中心に読み聞かせボランティア「サルビア会」の皆さんによる読み聞かせを行っています。また読書月間には、「青柳小お話会」の中で全教員による読み聞かせも実施しています。小学校に上がる前は行うことの多い読み聞かせですが、年齢が上がるにつれて、読み聞かせの機会が少なくなってしまうのではないのでしょうか。また、保護者アンケートの結果からも「家では本を読んでいない」「読み聞かせの時間が取れない」など、保護者の声も聞かれます。そこで、今回は、小学生になっても読み聞かせを続けるメリットと、本選びのコツを紹介します。自分に合った本に出会い、読書を通して心を動かされる経験をすれば、きっと新たな感動を求めて自ら本を読むようになるのではないのでしょうか。

### 【1】読み聞かせで学力UP？

読み聞かせには以下のようなメリットがあると言われています。

- 想像力をふくらませる時間になる。
- 好奇心が広がる。
- 集中力がアップする。
- 子どもの語彙が増える。
- 親子のコミュニケーションになる。
- 子どもの気持ちが安定する。

集中力や語彙力がアップすれば、学校の勉強にも活かされます。好奇心が広がれば、将来のことを考えたり、自分でも物事を調べたりすることも増えるでしょう。もちろん「読み聞かせをしている」＝「勉強ができる」ではありませんが、プラスになることはたくさんあるのではないのでしょうか。

### 【2】1人読みにないメリットとは？

小学生になると1人で読むことができるようになります。そうすると、読み聞かせは必要ないと思いがちですが、読み聞かせには1人読みにないメリットがあります。

## 1人読み

- 集中力が上がる。
  - 目で文字を追う練習。
  - 声をだすことで発音練習。
- 「文字」に集中  
→絵はあまり見ていない。

## 読み聞かせ

- 「絵」に集中  
→イメージをふくらませることができる。  
→ストーリーに集中できる。

同じ本でも、1人読みと読み聞かせでは違った世界が見えてくるのではないのでしょうか。

### 【3】小学生に読み聞かせをする時のコツ

読み聞かせを続けると言っても、小学生にどんな本をどのように読んだらいいのか考えてしまう方もいらっしゃると思いますよね。そこで、読み聞かせをする時のコツやおすすめの本を紹介します。

- 幼児期の流れをそのままに  
→入学前に読み聞かせを行っていた御家庭では、親子の時間としてその習慣をそのまま続けることをおすすめします。
- 子どもが興味のもっているものを  
→読み聞かせは、絵本や生活にリンクしているもの（季節や行事）、図書館で借りてきた本でよいです。
- お話だけの読み聞かせもあり！！  
→絵がない分、耳から入る情報でイメージをふくらませることができ、聞く力も育ちます。
- 子どもに読み聞かせをしてもらおう  
→子どもに読み手になってもらったり、親と子が交代で読んでみたりしてもおもしろいです。

### 《読み聞かせにおすすめの本》

高学年でも、クスッと笑ってしまうような絵本です。見かけたら是非、手に取ってみてください。



《参考》 [benesse.jp/kosodate/](http://benesse.jp/kosodate/) ベネッセ教育情報